

# 名戸ヶ谷ビオトープだより

第 66 号 2016 年夏号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

## 春の生態調査

6月14日(火) 9:00～11:00 晴れ 気温 26度

昨日の雨が上がって朝から気持ちの良い天気となり、春の生態調査を行いました。

柄澤氏と篠崎さん、植物関係は佐々木さん、そして小生の参加でした。ABゾーンをくまなく回って生きものを確認しました。天気が良いので、多くの生きものが飛び交うかと思いましたが、結果として合計56種でした。昨年同時期よりは4種減少ですが、大きな変動ではなく、ひと安心です。これも皆様のビオトープ環境保全活動のお蔭です。

(藤平 三郎)



カワセミ



オオシオカラトンボ



ツマグロヒョウモン



コガネグモ

トウキョウダルマガエル

### 今年の観察会日程

- 第1回 6月20日(月)参加者2名
- 第2回 6月25日(土)参加者3名  
うち一般参加者1名
- 第3回 7月3日(日)参加者8名  
うち一般参加者7名
- 第4回 7月10日(日)参加者1名

## ハイケボタルの観察会

今年も6月下旬から4回に亘り観察会を実施しましたが、発見出来ませんでした。

2日間は雨のため翌日に延期で、状況としては月あかりも、風もなく良いコンディションでしたが残念です。4月2日に167匹を放流し餌のサカマキガイを撒いてこの時期を期待しました。去年は延べ5匹を確認しています。一般参加者は期間中に8名参加で一緒に探し回りました。周りの環境は建物の照明等で観察会には厳しくなり、又ホテル水路に流れ込む水量が枯渇し問題です。今年の原因結果を幹事会で話し合い来年に生かしたいと思えます。

(藤平 三郎)

## 田の草取り作業

今年の田植えもゲスト応援がありました。5月21日と28日に浮き上がった苗の「植え直し」を行いました。農薬ゼロのため今年も雑草が繁茂し、特にコナギの成長が早いので6月5日、18日に草取りを行いました。また、6月5日に「カリ肥料」の散布、7月2日には「穂肥」の追肥を田んぼの面積に合わせて計量し散布していました。(小笠原 智)



## 今年もスズメよけネットを張りました

7月23日に「もち稲」の穂が出ました。1週間ほど遅れて「うるち稲」も出ました。ほぼ例年通りで順調に生育しています。スズメもこれを逃さずとおいしく実り始めた穂を食べに多くが集まっています。「ごめんね」と思いながらもネットを張りました。

\*田んぼで羽化してネット内にいた「ギンヤンマ」を外に放しました。(小笠原 智)



ネットを引っ掛けないように運びます



完成です。朝日、夕日で輝きますよ



ネットから出られない「ギンヤンマ」



# 今年の案山子は誰でしょう



夏休みの宿題は終わりましたか？

リオ・オリンピックで日本選手が大活躍でした。メダル獲得者があまりにも多いので、他から決めました。

今年は、大リーグで活躍中の人と TV で多く見られるオバサン? にしました。散歩に来る方や園児たちが喜んでくれるのが励みです。

(小笠原 智)

## もち田の湧水が減少しているので 湧水池からの連通管を埋設しました

もち田 3・4 への給水量確保のため、旧ホテルゾーン湧水池から木道下を通す連通管を埋設しました。水位の高さが微妙で、3 番田には給水できず、4 番田への給水としました。少しは改善されそうです。そのほか、A ゾーンの木道があちこちで傷んでいますのでその都度補修をしています。今年度は回生の里側が市の工事で改良される予定です。

(小笠原 智)

両側に杭を打ち受け根太を設けて  
踏板を取り替えました



旧ホテルゾーン  
湧水池

もち田 3 番  
横の水路



踏板が折れています



踏板を張り替えました

# 合同作業日の活動状況

**6月18日(土)**

6月活動日は会員12名の参加のもとAゾーンのセイタカアワダチソウ刈り取り、Bゾーンは木村邸寄りの木道脇U字溝壁の雑草刈り取りとミントの刈り取りを行いました。写真左はAゾーンはのセイタカアワダチソウの刈り取り風景と、Bゾーン右ミントの刈り取り後の状況です。



**7月16日(土)**

7月活動日は市道脇の草刈り、市バス車庫横の脇の除草、トイレ脇の植え込みの整理とザリガニ釣り場の雑草刈り取り等の作業を実施しました。



ザリガニ釣り場の刈り取り後

市バス車庫横の草刈り後

市道脇の除草後

**8月20日(土)**

台風9号の影響も相まって朝方迄雨模様であったが、午前中で雨が上がることを期待して、活動に踏み切ったが、雨は止まず、6名の参加者があったが、1時間位で中止を与儀なくされた。小降りの際に木村家の小屋の後ろ側や井戸の周辺の草取りを行ったが、未済の状態で次回持ち越すことにした。

(園田廣満)



小屋の周辺の雑草処理した後



井戸周辺の雑草除去後



## 鳥の「さえずり」と「地鳴き」

鳥はサギ類の端正な体つきや、美しい羽色のカワセミ類、猛禽類の雄々しさなど、その魅力は一言では言い表せません。姿とともに美しいのが、そのさえずりです。

バードウォッチングは鳥の姿を見て楽しめますが、最近ではバードリスニングという言葉もあります。鳥の声は、大きく分けて「さえずり」と「地鳴き」の2種類があります。さえずりは主に、雄が繁殖期に鳴くもので、なわばりを宣言したり、雌への求愛のためと説明されています。さえずりはもともと、スズメ目の小鳥類が繁殖期に発する特有の節とリズムを持つ泣き声に名づけられたもので、スズメ目以外の鳥であっても、繁殖期に特有な泣き声は、さえずりと呼ばれることが多いです。さえずり以外の泣き声はすべて地鳴きと呼ばれ、求愛や警戒などの意味があるといわれています。

例えばウグイスの鳴き声は「ホーホケキョ」ですが、地鳴きは「チッチ、チッチ」です。

鳥の声を覚えるのはむつかしいという人は多くいます。それは鳴き声が姿形のように一

目で誰にでもわかるように表現することが難しいことに原因があるのでしょう。図鑑には、鳴き声がかかれていますが、表記の仕方は統一されていませんし、音質やリズムを文字で表現することはほとんど不可能です。CDが普及したといっても、ハンデいな図鑑のように、いつでも、どこでも広げることは難しいです。

鳥の声を覚えるには、野外でベテランから教えてもらうのが一番の早道ですが、鳥の声をひとの言葉に置き換える聞きなしも、一つの方法です。ホトトギスの「東京特許許可局」や、センダイムシクイの「焼酎一杯くいー」などは有名ですが自分の耳に聞こえた感じを、自分なりに表現したオリジナルの聞きなしを作るのも楽しいものです。春から夏にかけては鳥たちの繁殖期なので、さえずりを聞いて覚える絶好の機会です。ビオトープは樹木が少ないので、限られた鳥しか観察できませんが、木村家跡地でも観察できます。さらに少々足を延ばして城址公園まで行くと多くの種類の野鳥に会うことができます。（篠崎将）



アオサギ



コサギ

# 新入会員自己紹介

## 堀尾 幸晴 さん



この6月に入会しました堀尾と申します。川崎の社宅から新柏に移り住んで早や30年になります。団塊世代のサラリーマンでしたが、リタイアして4年が経ちます。

今は、道楽で写真を、ボケ防止に囲碁を、体力維持にスイミングをやっており、また、すぐ傍に住む孫2人(3歳・1歳)の「イク爺」をやっています。娘が働いているので、保育園の送迎・預りなど、可愛いとはいえ、今が一番手が掛かる時なので結構大変です。これも今しばらくのことと思いますが。

このように自分の趣味だけで暮らしていましたが、多少とも地元のお役に立てることはないだろうかと考え、この度、貴会に入会させていただくことといたしました。

と申しましても、自宅庭の手入れ程度しか経験がなく、農作業に係ることは全く初めてのことであり、また、在来の動植物に関する知識もほとんど無いため、どれだけお役に立てるか分かりませんが、会員の皆さま方の指導を受けながら、頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車  
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）